

台湾人訪日経験者の約8割、タイ人訪日経験者の9割強が1年以内の訪日を希望！

台湾人・タイ人の訪日旅行に関する意識調査

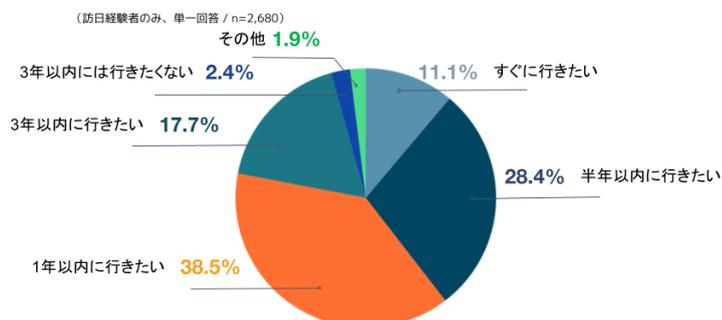
インバウンド事業を展開し、台湾・香港向けの訪日旅行Webメディア「步步日本(ブーブーニホン)」タイ向けの訪日旅行Webメディア「Chill Chill Japan(チルチルジャパン)」を運営する株式会社アジア・インタラクション・サポート(本社:愛知県名古屋市、代表取締役 青木達夫)は、台湾人とタイ人を対象に日本旅行に関する意識調査(調査期間2022年2月9日～3月9日)を実施しました。2カ国とも大半の人々が日本の観光客受け入れ再開後1年以内の訪日を希望し、旅行予算も日数も増やす人が多いという訪日旅行への強い期待感を示す結果になりました。2カ国がほぼ共通した結果になったことを見ると、この2カ国に限らず訪日旅行経験者の多くが同様の期待感を持っているのではないかと想像できる結果となりました。

【調査結果まとめ】

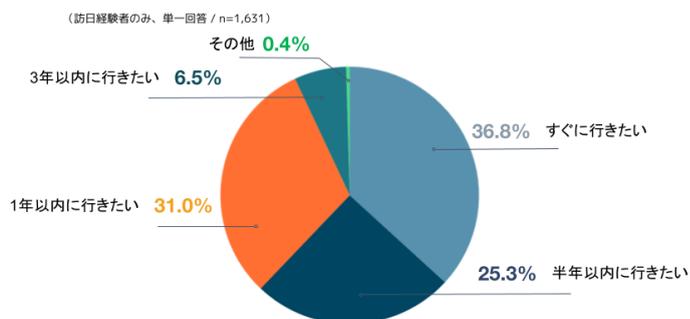
- 台湾人の訪日経験者では約8割(推定1069万人)の人が1年以内の訪日を検討し、タイ人では9割(推定232万人)を超える人が1年以内の訪日を希望
- コロナ後の訪日旅行の「予算」「日数」はいずれも従来より増加が見込まれる

■日本が観光客受け入れを再開したら「1年以内に行きたい」と考えている台湾人は約8割、タイ人では9割以上！

Q. 日本が観光客受け入れを再開したら、いつ日本旅行に行きたいですか？[台湾]



Q. 日本が観光客受け入れを再開したら、いつ日本旅行に行きたいですか？[タイ]



日本が観光客受け入れを再開した後の訪日タイミングに関する質問の結果、訪日経験者では「すぐに行きたい」「半年以内に行きたい」「1年以内に行きたい」を合わせた1年以内の訪日を希望している人の割合は台湾人が78.0%、タイ人が93.1%、と大半の方が1年以内の訪日を希望していることがわかりました。

台湾人の訪日旅行経験者数は1370万人、タイ人の訪日旅行経験者数は249万人と推計されている(日本政府観光局「22市場基礎調査」2022年4月28日発表データより)。今回の調査結果から推計すると、台湾人で1069万人、タイ人で232万人が1年以内の訪日を希望していると考えられ、この数は2019年の訪日数(台湾人:489万人、タイ人:131万人)を大きく越えるものです。

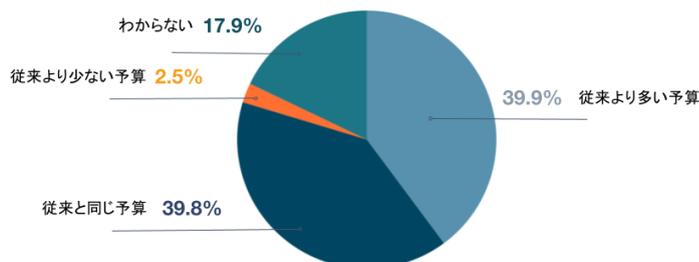
また、特にタイ人では「すぐに行きたい」と回答した数が36.8%「半年以内に行きたい」との合計で62.1%に上り、訪日旅行再開後より早い段階で日本旅行に行きたいと考えていることが分かる結果になりました。

一方で、台湾もタイもコロナ前の2019年の訪日観光客の旅行形態では、個人手配及び個人旅行パッケージの割合が7割を超えています。ビザを必要とする団体旅行の解禁が6月10日に迫っていますが、本格的な訪日台湾人・タイ人観光客の増加はビザ不要の個人での訪日旅行が解禁された後になるという予測もあります。

■ 訪日経験者のコロナ後の訪日旅行予算は増加傾向！

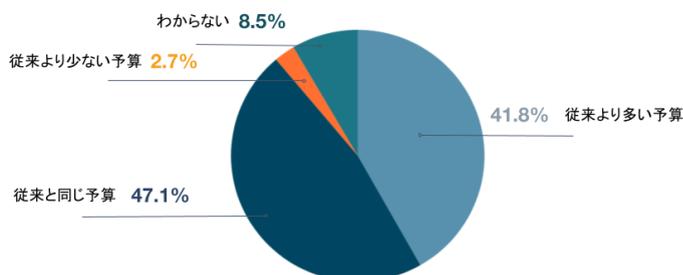
Q. コロナ後、最初に日本旅行をする際の予算は変わりますか？[台湾]

(訪日経験者のみ、単一回答 / n=2,680)



Q. コロナ後、最初に日本旅行をする際の予算は変わりますか？[タイ]

(訪日経験者のみ、単一回答 / n=1,631)



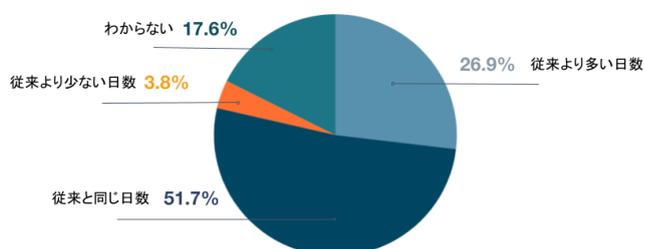
コロナ後の日本旅行の「予算」に関する質問の結果、訪日経験者で「従来より多い予算」と回答した方は台湾人で39.9%、タイ人で41.8%とどちらも4割近い結果になりました。一方「従来より少ない予算」と回答した方は台湾人で2.5%、タイ人で2.7%とわずかで、「予算」を増やす意向が圧倒的に多い結果となっています。どちらの

市場もコロナ後の訪日旅行に関しては、今までと同水準もしくは増加の予算になる人が8割を超え、コロナ後のトレンドとしてこれまでより「旅行予算」を増やすことが予想されます。

■ コロナ後の訪日旅行日数も増加傾向に！

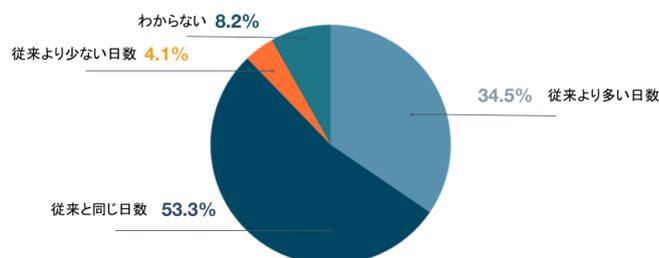
Q. コロナ後、最初に日本旅行をする際の旅行日数は変わりますか？[台湾]

(訪日経験者のみ、単一回答 / n=2,680)



Q. コロナ後、最初に日本旅行をする際の旅行日数は変わりますか？[タイ]

(訪日経験者のみ、単一回答 / n=1,631)



コロナ後の日本旅行の「日数」に関する質問の結果、訪日経験者で「従来より多い日数」と回答した方は台湾人で26.9%、タイ人で34.5%となりました。一方「従来より少ない日数」と回答した方は台湾人で3.8%、タイ人で4.1%とわずかで、「日数」を増やす意向が圧倒的に多い結果となっています。コロナ後のトレンドとしてこれまでよりも「旅行日数」を伸ばすことが予想されます。

【調査概要】

調査対象： 日本旅行に関心をもつ台湾人・タイ人

サンプル： 台湾人 2,913名(うち訪日経験者 2,680名の回答を集計)、タイ人 2,113名(うち訪日経験者 1,631名の回答を集計)

調査方法： インターネットアンケート調査

実施時期： 2022年2月9日～3月9日

<媒体紹介>

Chill Chill Japan

Chill Chill Japanはタイ人に向けて日本旅行情報を発信するWebメディアです。日本旅行の際に参考となるショッピングやグルメ情報などをはじめ様々な情報を提供しています。2015年12月の サイト開設から1年10ヶ月の短期間で月間110万PVを突破し、タイ人向け日本旅行情報WebメディアでNo.1と評されるようになりました。

- ・Chill Chill Japanの詳細(日本語) <https://exptours.net/column/chillchilljapan/>
- ・Chill Chill Japan 公式ウェブサイト <https://chillchilljapan.com/>
- ・Chill Chill Japan 公式facebookページ <https://www.facebook.com/chillchilljapan/>

歩歩日本

歩歩日本は2009年に開設された、台湾・香港向けの訪日旅行情報サイトです。編集長の台湾人文学賞作家・張維中氏をはじめ日本を知り尽くした台湾人ライターが質の高い記事コンテンツを執筆。目が肥えた訪日“超”リピーターが使っているインバウンドWebメディアです。

- ・歩歩日本の詳細(日本語) <https://exptours.net/column/bubujapan>
- ・歩歩日本 公式ウェブサイト <http://www.bubu-jp.com>
- ・歩歩日本 公式facebookページ <https://www.facebook.com/Japan.bubu>

【株式会社アジア・インタラクション・サポートについて】

AISは、インバウンドサポート事業・旅行事業・宿泊事業と3つの事業を展開しています。これらの事業を通じて、訪日外国人に対して日本の観光情報やツアーや宿泊を提供し、できる限り高い満足を得ていただくことを目指しています。また、これらの事業から得たノウハウを皆さまに提供し、持続性ある集客および収益を効果的にプロデュースしています。当社に関するより詳しい情報は、<https://exptours.net/>をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

アジア・インタラクション・サポート

TEL: 052-339-3601

E-mail: inbound@asia-is.com